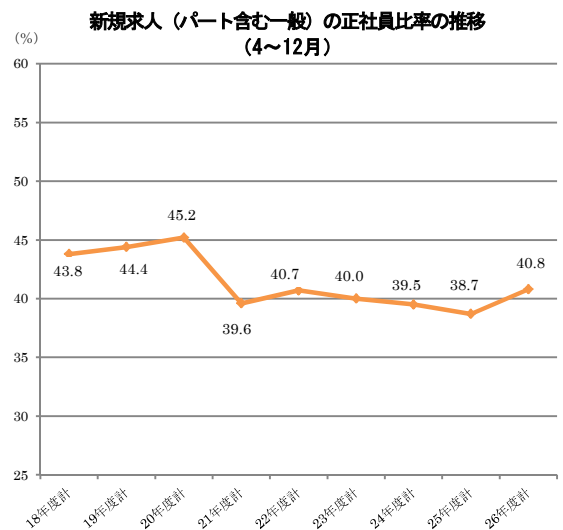
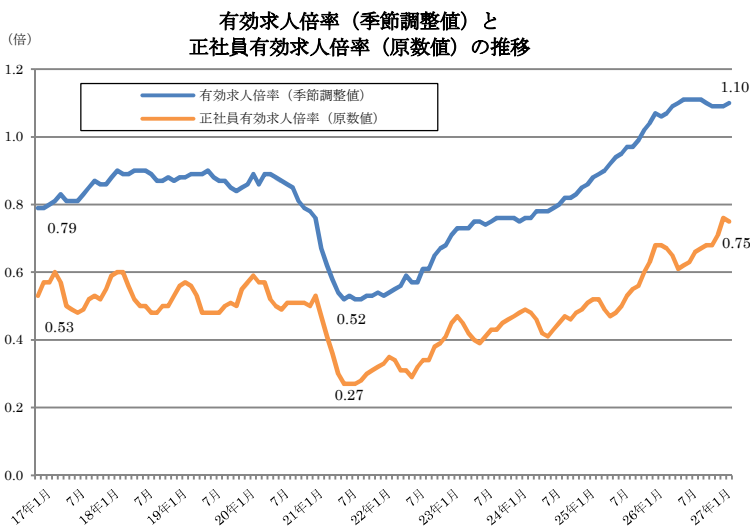


## ① 愛媛県の正社員有効求人倍率と新規求人の正社員比率の推移

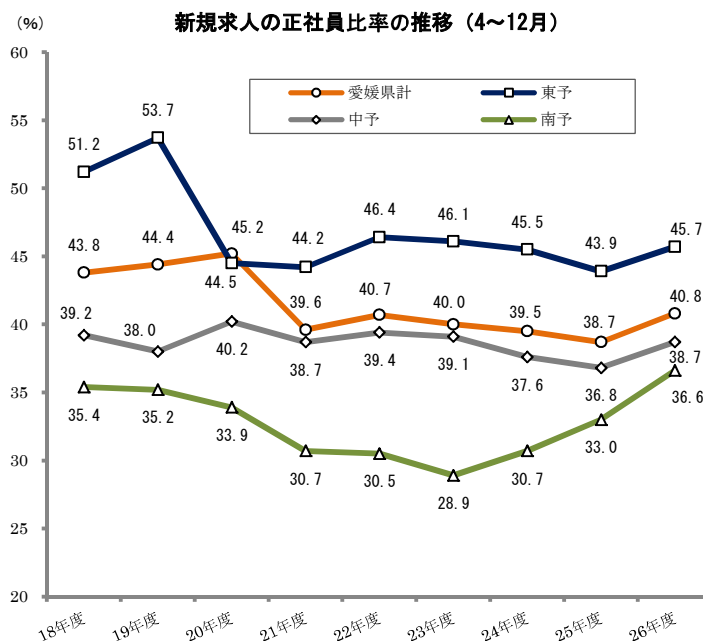
- ・ 正社員有効求人倍率は前年同月差 58 か月連続の上昇(平成 27 年 1 月時点)
- ・ 新規求人数に占める正社員求人の比率は 4 年ぶりに上昇に転じる



- 平成 27 年 1 月の有効求人倍率(季節調整値)は 1.10 倍となり、このうち、正社員の有効求人倍率(左図)は 0.75 倍となっており、前年同月差 58 か月連続の上昇となっている。有効求人倍率(季節調整値)は平成 21 年を底に上昇しており、正社員の求人倍率も同様に上昇しているが、その水準は相対的にみて低い。
- パートを含む一般新規求人(4~12 月)の正社員比率の推移(右図)をみると、平成 26 年度では 4 年ぶりに上昇に転じているものの、5 割に満たない状況にある。

## ② 地域別にみる新規求人の正社員比率(パート含む一般)

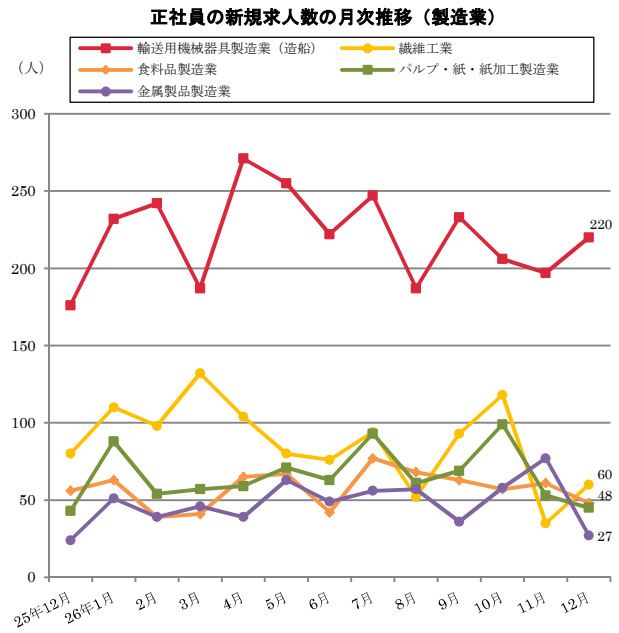
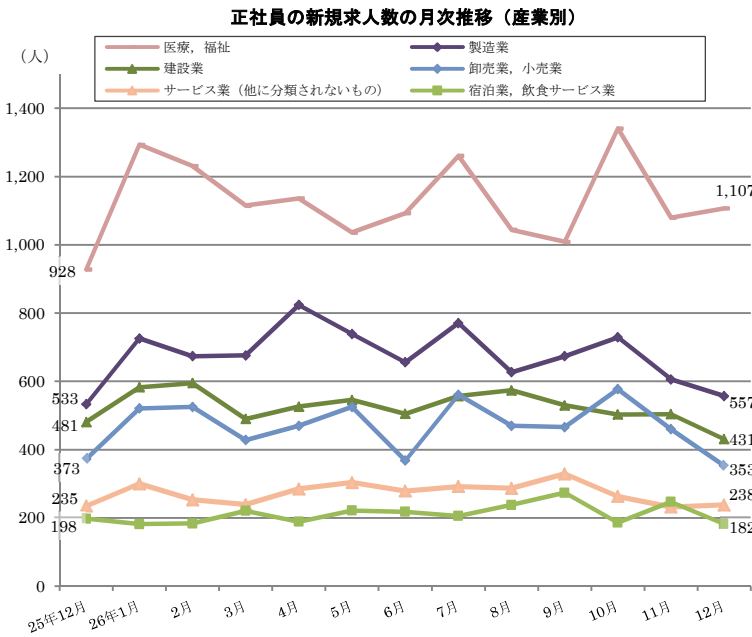
- ・ 地域別の新規求人の正社員比率は、全地域で上昇傾向であり、東予地域が最も高い
- ・ 他方、東予地域は、リーマンショック前の水準に回復していない



- 地域別に新規求人の正社員比率をみると、平成 26 年度は前年度同期に比べて全ての地域で上昇傾向にあり、東予地域が 45.7%と最も高く、中予地域 38.7%、南予地域 36.6%と続いている。このように、正社員求人比率は愛媛県内の全ての地域で持ち直しの動きがみられる。
- 他方、中予、南予地域は、リーマンショック前の水準にほぼ回復しているものの、東予地域では、リーマンショック前の水準に回復していない。

### ③ 産業別にみる正社員の新規求人数（パート含む一般）

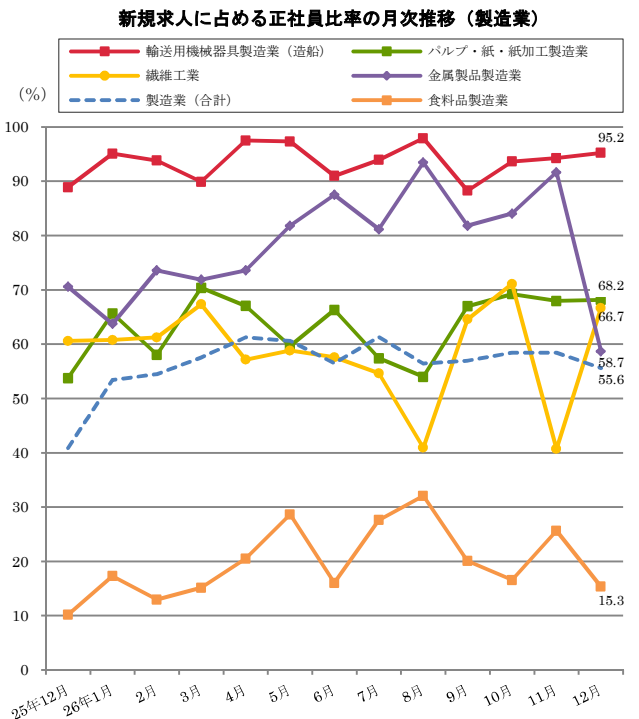
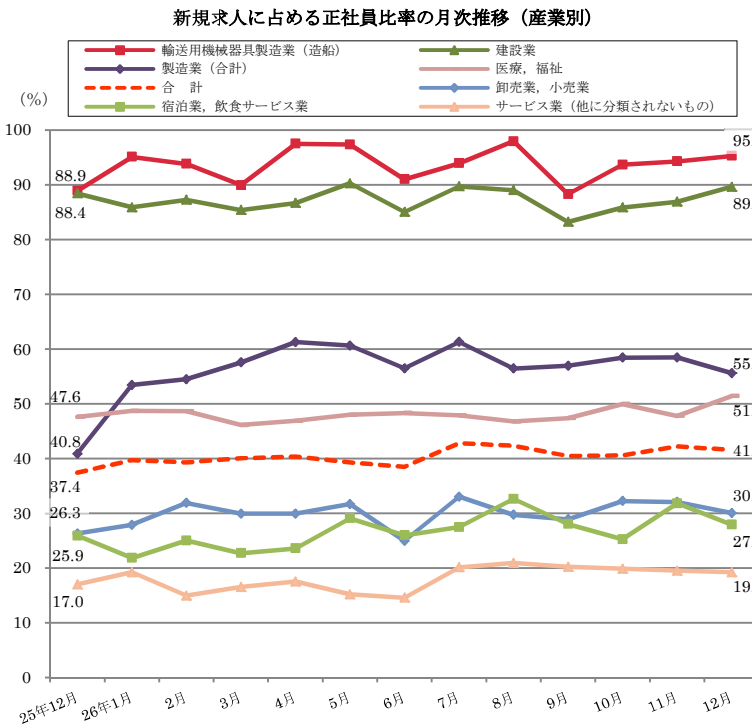
- ・ 産業別の正社員の新規求人数は、「医療、福祉」が最も多い
- ・ 製造業では、「輸送用機械器具製造業（造船）」が最も多い



- 主要産業別の正社員の新規求人数は、「医療、福祉」、「製造業」、「建設業」、「卸売業、小売業」、「サービス業（他に分類されないもの）」、「宿泊業、飲食サービス業」の順に多い。
- また、製造業のうち、東予地域で求人が多く出されている輸送用機械器具製造業（造船）が最も多い。

### ④ 産業別にみる新規求人の正社員比率（パート含む一般）

- ・ 新規求人数に占める正社員求人比率は、「輸送用機械器具製造業（造船）」、「建設業」で高い
- ・ 一方、「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「サービス業」は、3割前後の低水準で推移している



- 主要産業別に正社員求人の比率をみると、「輸送用機械器具製造業（造船）」、「建設業」、「製造業（合計）」、「医療、福祉」で5割を超えており、特に「輸送用機械器具製造業（造船）」、「建設業」で高い水準にある。
- 一方、「卸売業、小売業」「宿泊業、飲食サービス業」「サービス業」は、3割前後の水準に留まっている。